

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		看護専門学校
	05	02	01	07	01	

政策
地域医療に貢献できる有能な看護師の養成

政策の内容

保健・医療・福祉の総合化や医療の高度化に対応し、学びの質の向上を図りながら、医療機関や地域に必要とされる看護師を養成します。
看護師を職業として選択してもらえるよう、看護師の魅力を若い世代へ効果的に発信し、地域医療における看護師の確保を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
医療の充実	あなたの暮らしている地域では、安心してかかることができる医療機関(病院や薬局など)が充実していると感じますか。	3.54	3.54				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

医療機関に必要とされる人材の育成や授業カリキュラムを検証し、学生の学びの質を向上させ、国家試験受験者全員の合格を目指して取り組みを進めている。
18歳人口減少、職業選択多様化による看護師選択者の減少、慢性的な看護師不足、先進医療や地域医療に対応しうる教員のスキル向上は喫緊の課題である。
教員のスキル向上をはじめ、看護師の魅力の創出やPRを実施することにより、地域に貢献できる有能な看護師養成の一層の推進を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	93,167				
決算	76,592				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	21.0				
会計年度任用職員	7.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
学校管理運営事業	1 看護師国家試験受験資格の取得 看護師を目指す学生に3ヶ年かけて授業及び病院等の実習を通して、看護師として必要な知識・技術が身に付くよう指導し、看護師国家試験の受験資格の取得を行う。	75,930
	2 教員の資質向上 新カリキュラムに対応できる教員の資質向上を図る。	65,639
看護専門学校デジタル運営経費	3 有能な学生を確保 有能な学生を早期に確保する観点から、一般入学試験(1期)を年内に実施する。	
	1 校内システムの維持管理 校内システムの維持管理を行う。	11,387
	2 学内管理システムによるデータ収集及び抽出 学内管理システムによるデータ収集及び抽出を行う。	
	3 図書の管理 図書管理システムによる図書の管理を行う。	10,953
	4 医学情報の情報提供 医学中央雑誌Web検索による情報提供を行う。	
	5 学生の学びの機会の確保 ICTを活用し学生の学びの機会等の確保を行う。	

※予算・決算は各事業に係る経費を計上



②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
授業・実習のカリキュラム通りの実施率(%)	カリキュラム通りに授業・実習を実施した割合	カリキュラム通りに授業や実習を実施することは、「看護師国家試験合格率」の向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
看護師国家試験 合格率(%)	在校生で看護師国家試験を受験した者の合格率実績値	本政策の内容に関し、地域医療に貢献できる有能な看護師養成を推進する必要があることから本指標を設定した。合格率向上により、「健康寿命」向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	95.7				
			達成率	-	95.7%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
健康寿命 (歳)	○	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間 ※3年に一度行われる調査をもとに厚生労働省が算出	実績値	男性 73.70 女性 75.95 (2022 年度)	2027年 度確定					男性 75.24 女性 78.15
			達成率	男性 98% 女性 97%						
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

病気の発症や重症化を予防することにより、健康で自分らしく充実した生活を送っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
学校管理運営事業	1 看護師国家試験受験資格の取得 授業及び病院等の実習を通して、看護師として必要な知識・技術が身に付くよう指導し、看護師国家試験の受験資格の取得を図った。 2 教員の資質向上 2名が専任教員養成講習会に参加、その他学会や研修に参加し教員の資質向上を図った。 3 有能な学生を確保 有能な学生を早期に確保する観点から、一般入学試験(1期)を年内に実施したが、受験生が44人減少し、学生確保方法について課題がある。	入試制度の拡充等の検討を行い受験生(入学生)の確保を図る。
看護専門学校デジタル運営経費	・校内システムの維持管理を行った。 ・学内管理システムによるデータ収集及び抽出(学生の成績、出欠席、在校生や卒業生の成績証明書の発行、Google Workspaceによる授業アンケート等)を行った。 ・図書管理システムによる図書の管理を行った。 ・医学中央雑誌Web検索を利用した教員・学生への情報提供を行った。 ・ICTを活用し学生の学びの機会等の確保(電子教科書の利用、Google Workspaceによる授業資料の配布・課題の提出・返却等)を行った。	引き続き適正な事業を推進を図る。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

授業及び病院等の実習を通して、看護師として必要な知識・技術が身に付くよう指導し、看護師国家試験の受験資格の取得を図った。

3年生49名のうち3名が受験資格を得ることができず、国家試験を受験した46名のうち2名が不合格となったことから、より学生に寄り添った指導を推進する。

新カリキュラムに対応できる教員の資質向上を図った。

産育休の職員が2名、長期研修参加者が2名いたことから、学会や研修に参加できる機会が限られたが、できるだけ機会を確保し教員の資質向上を推進する。

一般入学試験(1期)を年内に実施し、受験生の確保に努めた。

受験生や入学生の減少がみられたことから、広報方法の見直しや新たな入試方法の導入等を検討し学生確保を推進する。